



## 「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

三井物産株式会社 代表取締役常務執行役員 CFO 内田 貴和

このたびは2018年(第24回)ディスクロージャー優良企業(商社部門及び個人投資家向け情報提供)に選定頂き大変光栄に存じます。ひとえに日頃の投資家、証券アナリスト、関係各位のご支援の賜物と、改めまして深くお礼申し上げます。

当社は、2017年5月に公表した3年間の中期経営計画(中経)「Driving Value Creation」の折り返し地点にいます。①非資源分野の強化を含む「強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化」②モビリティ、ヘルスケアなど「新たな成長分野の確立」③「キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化」④「ガバナンス・人材・イノベーション機能の強化」といった4つの重点施策を着実に実行し、本中経の目標達成に向けて、しっかりとした足場固めができていることを、投資家の皆様に判り易くお伝えするように努めています。

特に今年度は、非財務情報を大幅に拡充した当社初の統合報告書を作成しました。ESGの視点で、持続可能性をより意識した事業活動を推進していくことを謳い、気候変動への取り組みも紹介しました。とりわけ、複雑で分かりにくいとされる当社の価値創造プロセスについては、当社の祖業であるトレーディングと事業経営の両輪で成長するビジネスモデルとして、事例も交えて説明しています。また、今年度で2回目となるインベスターデイを開催し、証券アナリスト・機関投資家・マスメディアなど多くの方々にお

集まり頂きました。今年度は、社長・CFOからのメッセージの他、投資家の皆様のご関心も高い社外取締役によるパネルディスカッションを行いました。取締役の役割や当社の課題などに関する社外取締役の率直な議論は、大変有益であったのではないかと考えています。加えて、当社の競争優位性をより深く知って頂く為、中核分野に絞った営業本部長のプレゼンテーションや質疑応答も実施し、イベント全体を通じて、当社の強みをご理解頂ける機会になったものと自負しています。

また、現在当社株式は約30万人の個人株主に保有頂いており、当社にとって個人投資家は大変重要な存在となっています。経営幹部による映像を交えた個人投資家説明会、多様な事業・人材・海外拠点などを紹介した株主通信、今年初めて実施したオンライン会社説明会などを通じ、個人投資家や株主の皆様への発信力も強化して参ります。

IRのミッションは、適時適切な情報開示による経営の透明性維持と市場の視点・意見を経営に反映させることによる企業価値向上であり、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との対話が重要と考えています。今後も、対話を支えるディスクロージャーの質の向上に努めて参りますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。